

# PCAPSとは

患者状態適応型パスシステム : PCAPS

Patient Condition Adaptive Path System

東京大学 飯塚・水流研究室が開発

患者状態適応型パスシステムの概念

「患者状態」を基軸として、複数の「目標状態」が  
リンクされ分岐・結合を形成しながら最終目標  
状態に至る臨床経路を示す俯瞰的なモデル



PCAPS 導入によるケアの質向上へのアプローチ

～業務体制の見直しを試みて～

医療法人財団利定会 大久野病院 4F 回復期リハビリテーション病棟

## 【はじめに】

PCAPS（患者状態適応型パスシステム）とは、患者状態を基軸として、複数の目標状態がリンクされ分岐・結合を形成しながら患者の最終目標に至るまで、個別的な観察ケアを提供できるシステムである。当院ではこのシステム導入を試みたが、ケア・観察項目が詳細にプランニングされても、マンパワー不足や非効率な業務体制下では活用に繋がらなかった。今回、慢性期病院でのシステムの有効活用を目的として、その体制づくりを行った。結果をここに報告する。

## 【方法】

業務体制の見直しと夜勤看護・介護配置数の見直しとその分析

## 【結果・考察】

業務体制の見直しにより残業時間を増やすことなくマンパワーを日勤へシフトすることができた。その結果、PCAPS 導入が可能となり観察ケアが標準化され質向上に一定の効果が見られたと考えられる。